

授業科目名 (英文表記)	SDGs・紀南 (SDGs・KINAN)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	岡崎 裕、此松 昌彦、本郷 宙軌 (非常勤講師)		
開 講	南紀熊野サテライト (田辺市他)	区 分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 11月2日(土) 13:00~17:00	第3回 12月14日(土) 12:20~16:20	
	第2回 11月30日(土) 13:00~17:00		

【授業の概要・ねらい】

SDGs(Sustainable development Goals)は、2015年の国連サミットで策定された世界で2030年までに達成すべき持続可能な開発目標である。近年、これについて産・官・学・民のそれぞれのセクターにおいて多くの取り組みが進められており、和歌山大学においてもサテライト科目として、これを包括的かつ実践的に学ぶべく新たに本科目を設定した。SDGsでは、「環境」「経済」「社会」等いくつかの категорияに分類される17のゴールと、そうしたゴールをさらに細分化した169のターゲットが定められており、このうち本年度は、SDGsそのものに関する包括的議論について学ぶとともに、紀南地域の自然に基づく海洋環境、さらにそうした環境の保全に対して歴史的に貢献した「南方熊楠」に着目し講義を進める。

【授業計画】

第1回 オリエンテーション・SDGs 総論、田辺市の取り 担当教員：岡崎 裕

組みゲストスピーカー：田辺市企画広報課長 竹本 昌人氏

第2回 南方熊楠の取り組み 担当教員：此松昌彦

南方熊楠の考えていた環境保全について考えます。

ゲストスピーカー：南方熊楠顕彰館学術研究員 土永知子氏 (会場：南方熊楠顕彰館)

第3回 串本エリアの海洋環境 非常勤講師：本郷 宙軌 (南紀熊野ジオパークセンター主査研究員)

串本海中公園において、サンゴをテーマに保全や活用について学習します。また森美枝館長に串本海中公園を案内いただきます。船からのサンゴなど海の生物を観察してもらい、串本の海と生物について学びます。

(会場：串本海中公園)

【到達目標】

受講生が、SDGsの経緯並びにその趣旨について理解し、17の目標についてその本質を具体的に説明し実践できるようになる。さら本年においてはSDGsの大きな課題のひとつである「海洋環境」と、その保全に尽くした「南方熊楠」について理解し、これからの見方考え方に資するものとして活用できるようになる。

【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

授業ごとの目標に対する達成度評価を基本とし、授業の関わり方・課題への取り組み方等を含めた総合評価を行う。

【教科書】

特に指定はしないが、授業の過程において適宜参考文献を示す。

【参考書・参考文献】

授業中に示す。

【履修上の注意・メッセージ】

授業テーマに関連する社会的な出来事に関心を持ち、可能であれば、自然現象の保全活動等に、積極的に参加・参画してください。南方熊楠顕彰館の入場料350円(団体割引の可能性有り)は受講生に払っていただきます。串本海中公園の入場料1,600円(団体割引の可能性有り)は受講生に払っていただきます。串本駅から海中公園までの送迎バスを調整中ですので、詳細は後日連絡します。

【履修する上で必要な事項】

配当された授業を受講し、積極的に参加すること。

【授業時間外学修についての指示】

事前・事後学習については、その都度連絡します。

【授業理解を深める方法】

普段からSDGsに関心を持ってください。